

平成21年3月19日
国土交通省港湾局

平成20年度 全国輸出入コンテナ貨物流動調査結果について

1. 概要

国土交通省港湾局では、我が国発着の国際海上コンテナの流動を詳細に把握するため、5年に1度、1ヶ月間の「全国輸出入コンテナ貨物流動調査」を実施しています。

今般、平成20年11月に実施した調査結果がまとまりました。

2. 調査目的

本調査は、国際海上コンテナ貨物の流動を把握することにより、効率的な物流体系を構築するための港湾政策の企画立案、港湾整備計画の検討、物流事業者による各種検討等に活用することを目的としています。

なお、本調査は調査期間を必要最低限の1ヶ月間に限っています。従って、本調査結果から貨物の流動実態を分析する場合には、季節変動や営業日数等の影響を考慮する必要があることをご留意ください。

3. 調査内容

調査範囲：国際海上コンテナ貨物の以下の流動実態

（輸出）国内の生産地から海外の仕向国までの流動実態

（輸入）海外の原産国から国内の消費地までの流動実態

調査期間：平成20年11月1日から30日までの1ヶ月間

調査対象：上記期間中に通関申告が行われる海上コンテナ貨物全量

4. 主な調査結果

- ・ 国際海上コンテナ貨物の国内の生産・消費地は、関東・中部・近畿の3地方のシェアが高く、輸出で75.8%(対前回調査比-0.3ポイント)、輸入で79.3%(同+0.0ポイント)。
- ・ 貨物の仕向地(輸出)、仕出地(輸入)は、アメリカのシェアが輸出で14.0%(同-3.6ポイント)、輸入で8.9%(同-2.4ポイント)と低下。一方、輸入における中国のシェアは49.4%(同+5.2ポイント)と拡大。
- ・ トランシップ率(アジア主要港湾でコンテナ貨物が積み替えられる比率)は18.0%(同+2.4ポイント)となり、伸び率は鈍化したものの引き続き上昇傾向。
- ・ 国際海上コンテナ貨物の国内輸送における海上輸送の利用が輸出入貨物とも増加。

4 - 1 . 概況

コンテナ貨物量、申告件数、申告価格

- ・ 輸出コンテナの貨物量は507万トン、申告件数は16万件、申告価格は1兆7,277億円。前回(平成15年10月)の調査結果は、貨物量は616万トン、申告件数は19万件、申告価格は1兆8,171億円であり、貨物量、申告件数、申告価格ともに減少。
- ・ 輸入コンテナの貨物量は828万トン、申告件数は23万件、申告価格は1兆6,392億円。前回の調査結果は、貨物量852万トン、申告件数24万件、申告価格1兆2,429億円であり、申告価格は増加したものの、貨物量、申告件数は減少。

コンテナ貨物の生産地、消費地

【生産地(輸出)】

- ・ 輸出コンテナ貨物の生産地を地方別にみると、貨物量は中部、関東、近畿の順に多く、この3地方で全国の75.8%(10年調査75.2%、15年調査76.1%)。前回調査と比較すると、中部、近畿のシェアがそれぞれ1.7ポイント、0.4ポイント拡大。一方、関東のシェアは2.5ポイント低下。
- ・ その他の地域では九州のシェアが1.9ポイント拡大。

【消費地(輸入)】

- ・ 輸入コンテナ貨物の消費地を地方別にみると、貨物量は関東、近畿、中部の順に多く、この3地方で全国の79.3%(10年調査80.3%、15年調査79.3%)。前回調査と比較すると、関東のシェアが1.4ポイント拡大。一方、中部、近畿のシェアはそれぞれ0.5ポイント、1.0ポイント低下。

(生産・消費地別船積港・船卸港別コンテナ貨物量については別添資料をご覧ください)

コンテナ貨物の仕向地、仕出地

【仕向地(輸出)】

- ・ 輸出コンテナ貨物の仕向地を州別にみると、アジア州(61.2%)、北アメリカ州(16.4%)、ヨーロッパ州(14.1%)の順に貨物量が多い。
- ・ 前回調査と比較すると、前々回の47.4%から前回60.8%へ大幅にシェアが拡大したアジア州は、今回61.2%で0.4ポイントの小幅増。一方、前回27.2%から20.2%へシェアを落とした北アメリカ州は、3.8ポイント減の16.4%で引き続きシェアは低下傾向。

- ・ 輸出コンテナ貨物の仕向地を国・地域別にみると、中国(20.3%)、アメリカ(14.0%)、タイ(5.9%)、香港(4.8%)、台湾(4.6%)の順に貨物量が多い。
- ・ 前回調査と比較すると、アメリカのシェアが3.6ポイント低下している他、香港、台湾のシェアもそれぞれ1.3ポイント、2.3ポイント低下し、貨物量が大きく減少。

輸出コンテナ貨物量の多い仕向国のシェアの変化

(単位:ト, %)

仕向国	平成20年		平成15年		シェアの増減
	貨物量	シェア	貨物量	シェア	
中国	1,029,110	20.3%	1,249,121	20.3%	0.0%
アメリカ	710,410	14.0%	1,087,804	17.6%	-3.6%
タイ	296,733	5.9%	353,597	5.7%	0.1%
香港	245,487	4.8%	379,639	6.2%	-1.3%
台湾	231,243	4.6%	422,507	6.9%	-2.3%
韓国	223,253	4.4%	273,868	4.4%	0.0%
U A E	168,784	3.3%	110,943	1.8%	1.5%
輸出計	5,066,596	100.0%	6,164,347	100.0%	-

【仕出地（輸入）】

- ・ 輸入コンテナ貨物の仕出地(原産国)を州別にみると、アジア州(74.1%)、北アメリカ州(12.0%)、ヨーロッパ州(8.7%)の順に貨物量が多い。
- ・ 前回調査と比較すると、アジア州(前回70.5%)は3.6ポイント増の74.1%で着実にシェアが拡大。一方、北アメリカ州は前回の14.8%から2.8ポイント、ヨーロッパ州は9.9%から1.2ポイントシェアが低下し、特に北アメリカ州は輸出と同様に、前々回21.6% 前回14.8% 今回12.0%と引き続きシェアが低下傾向。
- ・ 輸入コンテナ貨物の仕出地を国・地域別にみると、中国(49.4%)、アメリカ(8.9%)、タイ(5.9%)、韓国(4.3%)、インドネシア(3.9%)の順に貨物量が多い。
- ・ 前回調査と比較すると中国のシェアが5.2ポイント拡大。一方、アメリカのシェアは2.4ポイント低下。

輸入コンテナ貨物量の多い仕出国のシェアの変化

(単位:トン, %)

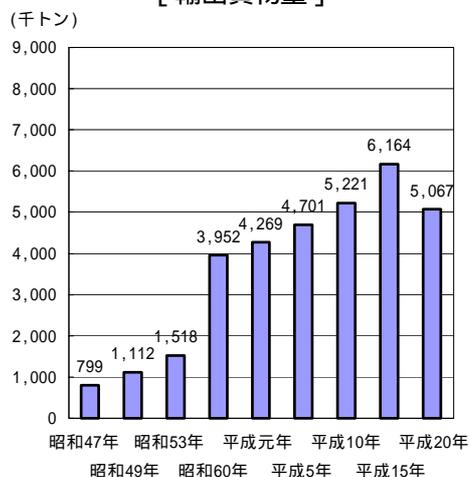
仕出国	平成20年		平成15年		シェアの増減
	貨物量	シェア	貨物量	シェア	
中国	4,087,495	49.4%	3,768,862	44.2%	5.2%
アメリカ	733,263	8.9%	961,505	11.3%	-2.4%
タイ	491,301	5.9%	536,713	6.3%	-0.4%
韓国	358,061	4.3%	431,144	5.1%	-0.7%
インドネシア	322,587	3.9%	357,511	4.2%	-0.3%
台湾	235,986	2.9%	293,978	3.4%	-0.6%
カナダ	219,338	2.7%	262,193	3.1%	-0.4%
輸入計	8,275,634	100.0%	8,523,196	100.0%	-

(参考) 世界的な景気変動の中における今回調査の結果について

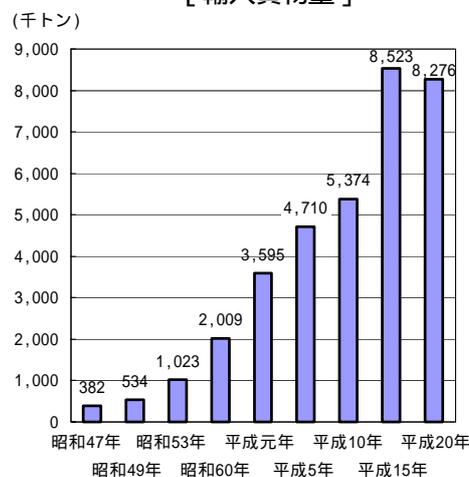
本調査は、輸出入コンテナ貨物の流動状況を把握するための調査ですが、本調査で得られた1ヶ月間の貨物量を過去の調査と比較すると、輸出入共に5年前の前回調査より減少していることがわかります。これは昭和47年に本調査を開始して以来初であり、調査期間中の営業日数の違いなどを考慮する必要がありますが、今般の世界的な景気後退が大きく影響していることが考えられます。

今後、貨物の生産・消費地別、品目別、方面別など貨物の流動状況を細かく分析し、検討を進める予定です。

[輸出貨物量]



[輸入貨物量]

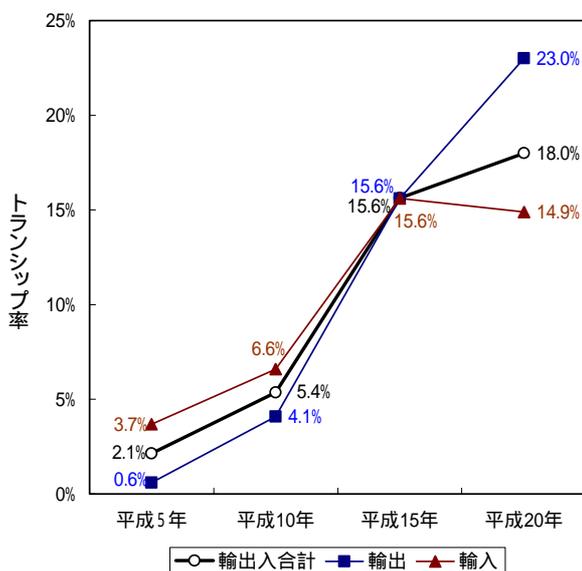


3 - 2 . トピックス

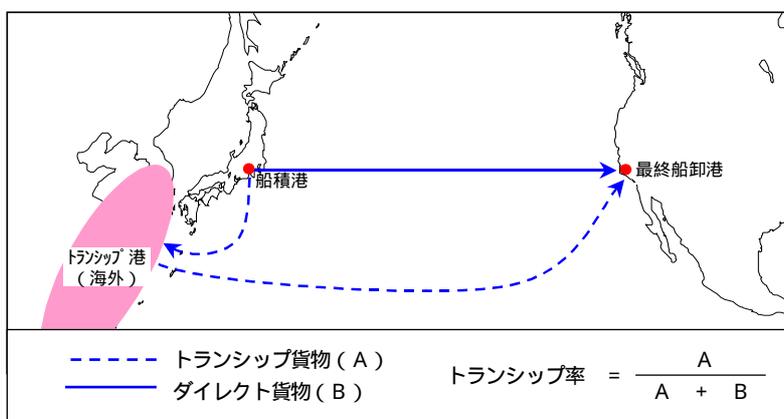
トランシップ率の上昇

トランシップ率（日本を発着するコンテナ貨物のうちアジアの主要港で積み替えられる貨物が占める割合）は、輸入では14.9%（対前回調査比-0.7ポイント）と微減であったものの、輸出では23.0%（同+7.4ポイント）と上昇し、輸出入計では18.0%（同+2.4ポイント）となり、伸び率は鈍化しているものの、引き続き海外で積み替えられる割合が高くなる傾向がみられます。

トランシップ率の推移



トランシップ貨物のイメージ（北米向け貨物の場合）



（参考：トランシップの問題点）

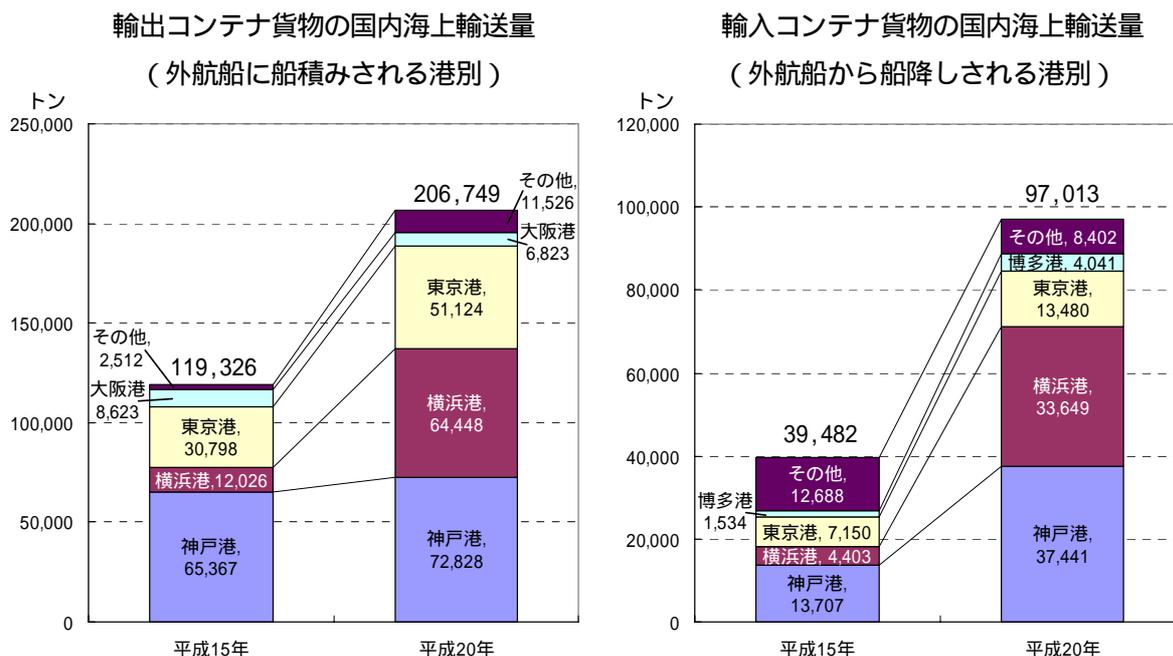
トランシップ貨物は、ダイレクト貨物と比較して、積み替えに伴い輸送にかかる日数が増える、荷役回数が増えることに伴い荷傷みの可能性が高くなる、積み替えに伴い定時性が確保できない場合がある、貨物の追跡が困難な場合がある、などの問題点があり、このような輸送が多くなると我が国に立地する産業の国際競争力が低下する恐れがあります。

国際海上コンテナ貨物の国内輸送における海上輸送の増加

海上輸送に伴って発生するCO₂排出量（原単位）は、トラック輸送の約1/4であり、海上輸送は環境負荷の少ない輸送手段であるといえます。そのため、国内の貨物輸送において、海上輸送を積極的に活用して環境負荷の小さい物流体系を構築することが重要です。

今回の調査結果における国際海上コンテナ貨物の国内における主な輸送手段（輸出の場合はコンテナ詰め場所から船積港まで、輸入の場合は船卸港からコンテナ取出場所までの主な輸送手段）に海上輸送を利用した貨物量は、輸出は206,749トン（前回調査119,326トン）、輸入は97,013トン（前回調査39,482トン）と輸出入とも前回調査の貨物量を大きく上回り、海上輸送の利用が拡大しています。なお、海上輸送の分担率（トンベース）は、輸出で4.1%（前回調査1.9%）、輸入で1.2%（前回調査0.5%）でした。

港別では、輸出入共に神戸港、横浜港、東京港で外航船に船積み・船卸しされる貨物が多くなっています。



なお、本調査の詳細については国土交通省ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。

（お問い合わせ先）

国土交通省港湾局 TEL: 03-5253-8111（代表）

03-5253-8670（企画室直通）

計画課企画室 上原、石原（内線:46-825）

(参考) 生産地・消費地別船積港・船卸港別コンテナ貨物量シェア

(単位: トン、%)

生産地 消費地	船積港	輸出				輸入			
		平成20年		平成15年		平成20年		平成15年	
		貨物量	構成比	貨物量	構成比	貨物量	構成比	貨物量	構成比
北海道	苫小牧港	23,860	50.6%	39,555	63.1%	65,169	58.0%	79,322	68.6%
	横浜港	6,202	13.2%	6,895	11.0%	17,624	15.7%	12,360	10.7%
	石狩湾新港	4,320	9.2%	4,555	7.3%	8,340	7.4%	4,574	4.0%
	東京港	4,125	8.8%	4,800	7.7%	6,955	6.2%	5,985	5.2%
	室蘭港	3,478	7.4%	2,171	3.5%	5,725	5.1%	2,934	2.5%
	地域内他港	3,823	8.1%	3,073	4.9%	5,644	5.0%	5,360	4.6%
	地域外他港	1,328	2.8%	1,645	2.6%	2,973	2.6%	5,158	4.5%
	計	47,136	100.0%	62,694	100.0%	112,430	100.0%	115,693	100.0%
東北	横浜港	96,983	39.4%	78,608	32.7%	87,671	33.4%	76,608	32.2%
	東京港	81,253	33.0%	83,666	34.8%	48,807	18.6%	46,290	19.5%
	仙台塩釜港	34,443	14.0%	45,651	19.0%	43,843	16.7%	41,650	17.5%
	秋田港	11,308	4.6%	8,743	3.6%	26,160	10.0%	30,745	12.9%
	八戸港	5,226	2.1%	7,921	3.3%	23,359	8.9%	15,846	6.7%
	地域内他港	4,283	1.7%	8,015	3.3%	10,130	3.9%	14,704	6.2%
	地域外他港	12,736	5.2%	7,655	3.2%	22,871	8.7%	12,126	5.1%
	計	246,232	100.0%	240,259	100.0%	262,841	100.0%	237,969	100.0%
関東	横浜港	703,187	54.1%	753,943	43.4%	1,906,500	66.2%	1,746,023	61.4%
	東京港	516,612	39.7%	839,054	48.3%	885,382	30.8%	962,422	33.8%
	神戸港	20,543	1.6%	48,025	2.8%	20,508	0.7%	32,593	1.1%
	川崎港	17,805	1.4%	21,743	1.3%	13,809	0.5%	34,117	1.2%
	名古屋港	15,739	1.2%	36,061	2.1%	13,147	0.5%	27,511	1.0%
	地域内他港	10,344	0.8%	4,646	0.3%	14,358	0.5%	11,744	0.4%
	地域外他港	16,399	1.3%	33,512	1.9%	25,348	0.9%	29,387	1.0%
	計	1,300,629	100.0%	1,736,984	100.0%	2,879,052	100.0%	2,843,797	100.0%
北陸	神戸港	26,776	19.3%	46,838	25.0%	95,498	38.9%	109,924	42.3%
	名古屋港	22,732	16.4%	19,173	10.2%	26,892	11.0%	23,929	9.2%
	新潟港	18,249	13.1%	20,500	11.0%	23,254	9.5%	20,113	7.7%
	横浜港	17,947	12.9%	26,913	14.4%	21,804	8.9%	20,196	7.8%
	伏木富山港	17,267	12.4%	20,884	11.2%	20,516	8.4%	22,325	8.6%
	地域内他港	17,095	12.3%	19,285	10.3%	12,928	5.3%	11,515	4.4%
	地域外他港	18,726	13.5%	33,537	17.9%	44,373	18.1%	51,969	20.0%
	計	138,792	100.0%	187,130	100.0%	245,265	100.0%	259,971	100.0%
中部	名古屋港	1,036,295	61.8%	1,232,745	63.7%	1,248,302	71.2%	1,299,697	70.4%
	清水港	265,776	15.8%	329,617	17.0%	196,521	11.2%	212,499	11.5%
	横浜港	131,880	7.9%	94,707	4.9%	87,198	5.0%	75,096	4.1%
	四日市港	93,851	5.6%	75,464	3.9%	68,806	3.9%	75,346	4.1%
	東京港	83,962	5.0%	136,342	7.0%	46,854	2.7%	69,956	3.8%
	地域内他港	20,580	1.2%	3,074	0.2%	30,372	1.7%	20,184	1.1%
	地域外他港	44,831	2.7%	62,122	3.2%	75,689	4.3%	94,128	5.1%
	計	1,677,175	100.0%	1,934,071	100.0%	1,753,742	100.0%	1,846,906	100.0%
近畿	神戸港	505,634	58.6%	604,616	59.2%	1,124,679	58.4%	1,197,618	57.9%
	大阪港	244,215	28.3%	268,250	26.3%	690,914	35.9%	732,174	35.4%
	名古屋港	72,969	8.5%	80,413	7.9%	42,554	2.2%	54,703	2.6%
	四日市港	14,826	1.7%	19,118	1.9%	15,258	0.8%	5,769	0.3%
	横浜港	13,021	1.5%	12,746	1.2%	12,507	0.6%	16,607	0.8%
	地域内他港	370	0.0%	5,538	0.5%	15,584	0.8%	27,105	1.3%
	地域外他港	11,397	1.3%	30,809	3.0%	24,781	1.3%	34,832	1.7%
	計	862,432	100.0%	1,021,490	100.0%	1,926,277	100.0%	2,068,808	100.0%
中国	神戸港	98,883	33.0%	153,340	29.9%	114,568	29.9%	110,826	26.8%
	北九州港	45,712	15.3%	46,942	9.2%	62,508	16.3%	59,686	14.4%
	広島港	25,561	8.5%	84,220	16.4%	48,327	12.6%	45,747	11.1%
	水島港	22,336	7.5%	40,961	8.0%	47,388	12.4%	64,090	15.5%
	徳山下松港	21,479	7.2%	54,626	10.7%	41,501	10.8%	32,958	8.0%
	地域内他港	39,792	13.3%	90,834	17.7%	43,312	11.3%	57,155	13.8%
	地域外他港	45,765	15.3%	41,124	8.0%	25,659	6.7%	43,182	10.4%
	計	299,528	100.0%	512,047	100.0%	383,263	100.0%	413,644	100.0%
四国	神戸港	55,903	54.0%	61,115	51.3%	60,812	43.2%	71,221	45.4%
	大阪港	18,186	17.6%	15,596	13.1%	16,817	11.9%	15,634	10.0%
	高松港	9,206	8.9%	16,235	13.6%	12,840	9.1%	19,263	12.3%
	今治港	5,515	5.3%	9,142	7.7%	12,109	8.6%	6,699	4.3%
	高松港	3,027	2.9%	1,600	1.3%	10,180	7.2%	16,539	10.5%
	地域内他港	6,008	5.8%	6,743	5.7%	18,777	13.3%	20,339	13.0%
	地域外他港	5,732	5.5%	8,665	7.3%	9,386	6.7%	7,160	4.6%
	計	103,577	100.0%	119,096	100.0%	140,921	100.0%	156,855	100.0%
九州	博多港	249,002	65.0%	141,700	40.9%	281,870	51.7%	252,818	46.4%
	北九州港	61,725	16.1%	140,987	40.7%	151,863	27.8%	182,716	33.6%
	神戸港	27,503	7.2%	23,186	6.7%	35,575	6.5%	22,603	4.2%
	大分港	11,876	3.1%	4,854	1.4%	18,362	3.4%	12,244	2.2%
	八代港	6,876	1.8%	295	0.1%	14,469	2.7%	12,275	2.3%
	地域内他港	14,925	3.9%	16,386	4.7%	24,363	4.5%	44,222	8.1%
	地域外他港	10,947	2.9%	18,787	5.4%	18,912	3.5%	17,556	3.2%
	計	382,854	100.0%	346,195	100.0%	545,414	100.0%	544,434	100.0%
沖縄	那覇港	8,144	98.8%	4,273	97.5%	24,485	92.6%	31,687	90.2%
	博多港	52	0.6%	1	0.0%	955	3.6%	830	2.4%
	大阪港	33	0.4%	16	0.4%	716	2.7%	1,489	4.2%
	神戸港	7	0.1%	59	1.3%	187	0.7%	714	2.0%
	東京港	5	0.1%	32	0.7%	63	0.2%	94	0.3%
	地域内他港	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	128	0.4%
	地域外他港	0	0.0%	0	0.0%	23	0.1%	177	0.5%
	計	8,241	100.0%	4,381	100.0%	26,429	100.0%	35,119	100.0%
全国	名古屋港	1,156,859	22.8%	1,348,450	21.9%	2,080,095	25.1%	1,928,272	22.6%
	横浜港	974,710	19.2%	978,713	15.9%	1,316,044	15.9%	1,388,209	16.3%
	神戸港	765,194	15.1%	975,404	15.8%	1,243,550	15.0%	1,375,410	16.1%
	東京港	706,734	13.9%	1,105,260	17.9%	1,060,379	12.8%	1,110,275	13.0%
	大阪港	317,984	6.3%	372,159	6.0%	923,756	11.2%	998,938	11.7%
	その他港	1,145,115	22.6%	1,384,361	22.5%	1,651,810	20.0%	1,722,092	20.2%
	計	5,066,596	100.0%	6,164,347	100.0%	8,275,634	100.0%	8,523,196	100.0%